

OZONE



ANTI-G

PILOT'S MANUAL

飛行する前に必ずこの取扱説明書を良く読み、
内容を十分理解して下さい。

アンチG 目次

1	はじめに.....	2
2	警告.....	3
3	アンチGに関して.....	3
3・1	人体に対するG荷重の影響.....	4
4	取り扱い方法.....	5
4・1	アンチGの取付.....	5
4・2	開傘.....	6
4・3	アンチGの潰し方.....	7
5	パッキング方法.....	8
6	勧告.....	10
7	メンテナンス.....	10

1 始めに

まず始めにOZONEのアンチGをご購入頂きお礼を申し上げます。アンチGを初めて使用する前に必ずこの取り扱い説明書をよく読み、内容を理解して下さい。また、実際にハーネスにアンチGを取り付け、シミュレーターにぶら下がった状態で、アンチGを投げ出し、安全にアンチGを操作することが出来るか(センターライン・ハンドルに手が届くか)確認して下さい。

フリーフライト愛好家ならびに冒険者のチームであるオゾンの使命は、最先端のデザインによる最高の品質、性能、安全性を持つパラグライダー用の装備を作り上げることです。パイロットでもある我々は、究極の安全性および装備への信頼の重要性を十分理解しており、このアンチGはそれを念頭にデザインされています。

さらに我々は、装備の選択にあたっては品質および金額に対する価値が最も考慮されるものである事を知っています。それ故、低価格、高品質を実現するために全ての製品を自社工場で生産しています。そのおかげで、全てのオゾン製品は我々が期待する高いスタンダードに沿ったものとなっています。

この取扱説明書はあなたのアンチGの開傘方法、保管方法、リパック方法について説明しています。

オゾン、アンチG、その他のオゾン製品についての情報を、もっとお知りになりたいときには我々のホームページ(www.flyozone.com)をご覧頂くか、お近くのディーラー、スクールあるいは直接オゾンのスタッフへお問い合わせ下さい。このホームページには安全に関する事柄、アンチGに関する事柄など最新の情報が掲載されています。定期的にチェックされることをお勧めします。

安全なフライトを... オゾンチームより



2 警告

- * 初めてアンチGを使用する前に必ずこの取扱説明書を良く読んで内容を理解してください。分からない事は使用する前に、このアンチGを購入されたディーラーあるいは輸入代理店に確認し、理解してから使用して下さい。
- * もし、このアンチGを転売するときには必ずこの取扱説明書を新しいオーナーにお渡し下さい。
- * 全ての航空スポーツは危険を伴い、怪我や死亡事故が起きる可能性が有ります。このアンチGを使用するにあたっては、そのような危険性があることを認識し、あらゆる危険に対する全ての責任があなたに有る事を自覚して下さい。
- * アンチGの不適切および/あるいは間違った使用、改造は危険を増加させます。絶対にしないで下さい。
- * 製造者、輸入代理店ならびに販売者はこのアンチGの使用に起因する損害に対しての賠償責任は負わないものとします。
- * フライトする前に必ず、飛行前点検を実施し、安全に使用できる状態であることを確認してください。
- * アンチGは、パラグライダー用としてのみ設計されています。いかなる場合においても、ハンググライダー、スカイダイビング、ベースジャンプ用には絶対に使用しないで下さい。
- * アンチGを適切に保管し、定期的にはリパックしてください。そうしないと、強度の低下が早くなる恐れがあります。
- * アンチGは、認証登録されていません。アンチGを使用した状態では、パラグライダーの認証登録は無効となります。十分注意してください。

3 アンチGに関して

アンチGは、沈下率を減少させずに、スパイラルダイブ中のG荷重を大きく軽減する小さなドラグシュートです。

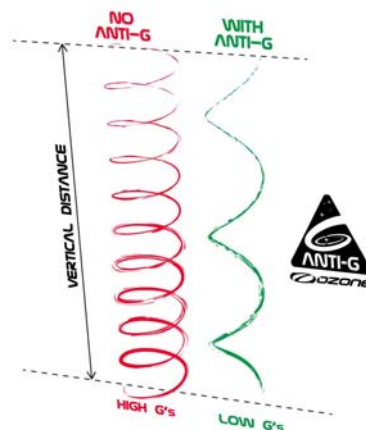
沈下率の大きいスパイラルダイブ中、極端な場合には5Gにも達するG荷重がパイロットにかかります。高いG荷重に長いことさらされると、方向感覚の喪失、視界の狭さく、船酔い、ブラックアウトになり、最悪死亡することもあります。アンチGは、これらの好ましくないG荷重の影響を軽減し、安心・安全に大きい沈下率を可能にするものです。

アンチGは、特に最近の高いレベルの効率と長いライン長を持つ高性能機に適しています。この2つの要素は、パイロットが感じるG荷重を増大させ、大きい沈下率でのスパイラルダイブを持続することを不安にさせ難しくしています。





アンチGは、スパイラルダイブ中の必要な旋回数を減少させます。同じ高度を落とすのに必要な旋回数が少なくなります。下の図は、2つのスパイラル、一つは赤色で、アンチGを使用しないもの、もう一方は緑で、アンチGを使用したもの、を3D表示したものです。沈下速度を変えずにG荷重を軽減する効果があります。



3-1 人体に対するG荷重の影響

旋回中のパラグライダーによりプラスのG荷重がパイロットにかかります。このため血液が下方、頭から足の方へ押し下げられます。これに対する人体の許容範囲は、G荷重の大きさとかかっている時間に左右されます。また、個人によっても違いがありますが、平均的な人であれば、意識を失わずに約5Gまでは耐えられます。多くの生物学的研究によれば、G荷重に対する抵抗力は、G荷重に比例しません。低いG荷重では、長時間耐えることができますが、3Gを超えると顕著な増加を見せ、有害な影響がでます。アンチGは、パイロットにかかるG荷重を、このしきい値以下に抑えるようにデザインされています。

スパイラルダイブ中の沈下率	アンチG無し	アンチG有り	差	減少率
-14m/s	4G	2.3G	1.7G	42%
-18m/s	4.1G	2.5G	1.6G	39%

4 取り扱い方法

アンチGは、パイロットの膝上に装着され、フライト中の体重移動やハーネス内での座り心地に影響を与えることはありません。コンテナバッグは、あいているスペースにより、チェストベルトの前あるいは後ろに取り付けます。コックピットを使用しているならば、コックピットと体の間、あるいはコックピットの下部に取り付けることも可能です。ベストな位置は、ハーネス及びコックピットのタイプにより異なります。



4-1 アンチGの取付

ブライダル(1)を、右あるいは左のメインライザーを取り付けているカラビナに接続します。ブライダルは、あなたがスパイラルをする側に取り付けてください。もしあなたが右側へスパイラルをしようとするなら、右側のカラビナにブライダルを取り付けます。ただし、レスキューパラシュートのハンドルが無い方へブライダルを取り付けることをお勧めします。これはとっさの時に、正しくレスキューハンドルを掴むことに対する悪影響を考慮してのことです。



取付けバックル(2)それぞれを左右のカラビナ、あるいは左右のレッグベルトなどの適切な移動しない場所に取り付けます。この際、ハーネスのチェストベルトがたるまない(左右のカラビナ間距離が狭くならない)ように注意してください。

重要:コンテナバッグが適切に取り付けられ、ブライダル(1)が障害物の影響を受けていない(ハーネスのテープと絡んでいない、アクセルロープがくぐっていないなど)ことを確認してください。

4・2 開傘

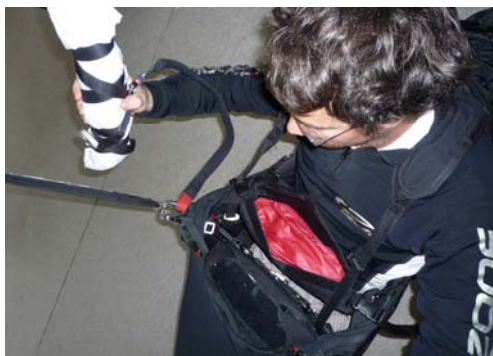
アンチGを開傘する前に、グライダーがトリム速度で直線滑空していることを確認してください。



両方のブレークを片手に持ち、コンテナバッグを開きます。



アンチGを掴みだし、横あるいは後方へ力強く投げ出します。



必ず、ブライダルが取り付けられてる方向(スパイラルする方向)へ投げてください。

重要:アンチGは、トリム速度で直線滑空している状態でのみ開傘して下さい。絶対に、加速中あるいはスパイラル中に開傘しないでください。

アンチGが取り付けられている側であることを確認し、いつものようにスパイラルダイブに入れてください。

重要:アンチGが取り付けられ、開傘しているのと反対側にスパイラルに入れないように注意してください。

注意:アンチGが開傘されると、僅かに滑空比は悪くなります。しかし、アンチGは、迎え角を変えるように設計されていませんので、アンチGが開傘しているからと言ってグライダーの剛性が弱まることはありません。グライダーの位置は変わりますが、迎え角が変わるわけではないので、グライダーは通常と同じ挙動を示します。

安全な高度まで降下したら、いつものようにスパイラルダイブから抜け出してください。急激に上昇しないように、ゆっくりとスムーズに操作してください。

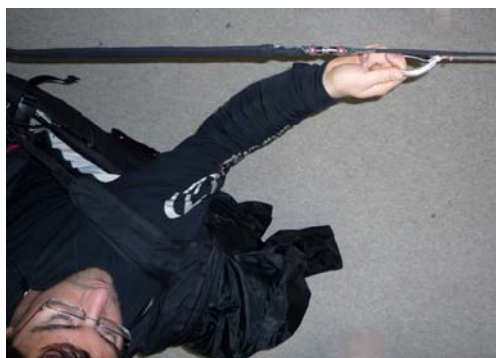
直線滑空に戻ったら、アンチGを以下に説明する方法で潰して下さい。

4・3 アンチGの潰し方

緊急降下がもはや必要なく危険が去ったならば、アンチGを潰す必要があります。



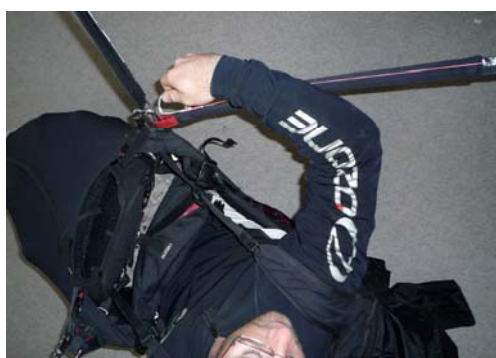
ブライダルの中間付近、寄り戻しの先にセンターライン・ハンドル(3)があります。このハンドルを引くことで、キャンピーが潰れランディングすることが可能になります。



アンチGを潰すには、両方のブレークを片手で持ち、もう一方の手をセンターライン・ハンドルへ伸ばし、ハンドルをベルクロから引きはがします。



センターライン・ハンドルを手前に引きこみ、ブライダルのカラビナ取付部にあるベルクロにハンドルを貼り付けます。



ハンドルをベルクロに貼りつけるとアンチGは、潰された状態になり、大きな抵抗とはなりません。

警告：一度開傘したアンチGは、たとえ潰した状態でも、引き戻して回収しないようにしてください

い。不意にキャンピーが開傘し、特にランディングアプローチ中は、危険となることがあります。

アンチGは、通常のドラグシュートとして使用されることを想定していません。ファイナルアプローチで滑空比を落とすための使用には適していません。ランディングする際には、センターライン・ハンドルをキャンピーが潰れる位置にしっかりと貼りつけておかなければなりません。

アンチGの使い方に慣れるまでは、大気の穏やかな時に、十分な安全マージンを取って開傘の練習をして下さい。

5 パッキング方法

レスキューパラシュートとは違って、アンチGは、特別なパッキング方法があるわけではありません。しかし、正しい装着ならびに開傘を保証するため、以下に説明する方法を推奨します。



アンチGをメッシュが上を向くように床に広げます。



センターラインがキャンピーを潰す位置にないことを確認します。このためにセンターライン(赤色の直径1mmほどのロープ)をキャンピー側にしっかり引き出します。



ハンドルを、ブライダルのベルクロ(寄り戻しのキャンピー方向にある)に貼りつけます。



キャンピーを半分にたたみます。



三角形になるように、縫い合わせテープに沿って、端からセンターへたたみます。



左右を重ね合わせます。



キャンピの頂点から裾に向かって巻いていきます。



ブライダルを巻きあがったキャンピーに巻き付けていきます。この際、ブライダルでキャンピーを締め上げることでパッキングサイズを小さくすることができます。



アンチGを、ブライダルを端から15～20cm出すようにしてコンテナバッグの中に収納します。



これでアンチGは、使用可能となります。

6 勧告

スパイラルダイブにおけるG荷重を軽減するためにのみアンチGを使用すること。

アンチGは、直線飛行で使用するにはデザインされていません。片方のカラビナに取り付けられることからヨー方向に力が発生します。特に加速している時には顕著となります。

アンチGは、ランディング時の滑空比を悪くするためにデザインされていません。ほとんど効果が無いばかりか、対称的に取り付けられるわけではないので、重大なファイナルアプローチ局面で方向を見失う危険性があります。

ランディング時あるは一般的に、地面近くでは、アンチGが、木やフェンスなどの障害物に引っかからないように注意してください。

アンチGは、パラグライダー専用です。ハンググライダー用としてはデザインされていません。

7 メンテナンス

アンチGは、特に難しいメンテナンスはありませんが、いくつかの守っていただきたいことがあります。

- ・アンチGを紫外線、湿気、汚れ、埃、その他の汚染物質に晒さない。
- ・アンチGを涼しい湿気のない場所に保管し、ヒーターや日光などの直接の熱源に晒さない。
- ・湿気と熱がキャンピーを損傷させる最悪の要素です。

製造者: OZONE GLIDERS LTD.

1258 Route de Grasse, 06620 Bar sur Loup, FRANCE

Tel: ++33(0)492 604 400

Email: info@flyozone.com

URL: www.flyozone.com

輸入者: ファルホークインターナショナル有限公司

〒154-0021 東京都世田谷区豪徳寺1-53-12

Tel: 03-5451-5175

Email: info@falhawk.co.jp

URL: www.falhawk.co.jp

この商品に関してのお問い合わせは
上記、ファルホークインターナショナル有限公司までお願い致します。



